

日本磁気共鳴医学会主導プロジェクト
脳梗塞における MRI 検査の標準化に関する研究
平成 20 年度第一回全体会議 議事録

平成 20 年 6 月 14 日 10 時 30 分～11 時 30 分 東京コンファレンスセンター品川 401 号室

出席者：井田正博、大西貴弘、椛沢宏之、木村徳典、興梠征典、小林和子、近藤康洋、佐々木真理、佐瀬茂、田岡俊昭、高木亮、高野浩一、高橋哲彦、傳法昌幸、道光希美子、原田雅史、福田拓規、帆足正勝、松井美詠子、松末英司、百島祐貴、山田恵、渡邊嘉之
(五十音順、敬称略)

1) 本年度メンバーについて

佐々木より、本年度のメンバーおよび所属・連絡先に若干の変更があることが報告された。

2) 議事録の確認

佐々木より、平成 19 年度第一回全体会議の議事録が提出され、承認された。

3) 脳ドック分科会報告

佐々木より、無症候性脳梗塞・白質病変の読影実験に関する論文が *Neuroradiology* に電子出版されたことが報告された。

田岡先生より、低磁場 MRI における FLAIR の至適撮像条件に関するシミュレーション、ファントム実験の詳細な結果が報告された。0.3～0.4 Tesla では TR 6,000 ms 以上であればコントラストに変動はなく、TI は 2,000 ms 程度が望ましいことが示された。

今後 3T MRI の FLAIR の至適撮像条件についても検討していくこととした。

4) 国内外の急性期脳梗塞臨床試験・多施設研究の状況について

佐々木より、Stroke Imaging Repository (STIR) Consortium などの stroke imaging の標準化に関する国際的な動向について説明があった。また、工藤先生を中心に海外の複数の研究グループとの共同研究が進行中であることが報告された。今後、当プロジェクトによる成果の priority の確保に留意しながら、慎重にコミットしていくこととした。また、国内の臨床試験である JACT2, DIAS-Japan などの進捗状況について報告があった。

5) その他

本プロジェクトは本年度で終了するが、来年度以降も何らかの形でプロジェクト申請を行って活動を続けていくこととした。次回は日本磁気共鳴学会総会の会期に開催することとした。

—散会—

(文責 佐々木)